

# 八丈出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 八丈出張所管内(八丈町・青ヶ島村)



タメトモユリ  
Tametomoyuri

【定点把握疾患】 2026年 第8週 (2月16日~2月22日)

八丈島 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:2件  
インフルエンザ7件、COVID19 1件

青ヶ島 インフルエンザ1件



ストレチア  
Strelitzia

【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター 第7週 (2月9日~2月15日)  
・インフルエンザの定点当たり報告数は、38.40と前週より減少しています。

3月4日は、国際HPV啓発デーです。

国際HPV啓発デーは、国際パピローマウイルス学会が毎年3月4日に開催する世界的な啓発キャンペーンです。子宮頸がんの多くはHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因で起こります。子宮頸がんは若い年齢の人にかかる病気で、日本では25歳から40歳の女性のがん死亡の第2位を占めますが、9価のHPVワクチンを接種することで、子宮頸がんの原因の80%から90%を防げます。小学校6年から高校1年相当の女性は、**HPVワクチンの定期接種の対象となっており、公費で接種を受けられます。**

## 【子宮頸がんを予防するには?】

HPVに感染した後、どのような人ががんへと進行してしまうかが明らかになっていないため、HPVの感染を防ぐことが子宮頸がんにならないための有効な手段といえ、HPV感染防止に有効なのが、HPワクチンの接種です。**ワクチンを接種**することで大きな感染予防効果が期待できます。

子宮頸がんは、早期に発見すれば、比較的治療しやすく予後が良いとされています。早期の発見・治療につなげるため、20歳以上の人は定期的に、**子宮頸がん検診**を受けることも重要です。予防と早期発見に努めることが大切です。



1997年~2008年度生まれの女性で2025年3月末までに接種を開始した方は、全3回の接種のうち、残りの接種についても2026年3月末まで公費で接種できます。

「これだけは知ってほしい  
はじめての HPV ワクチン」

<https://www.vaccine.metro.tokyo.lg.jp/>

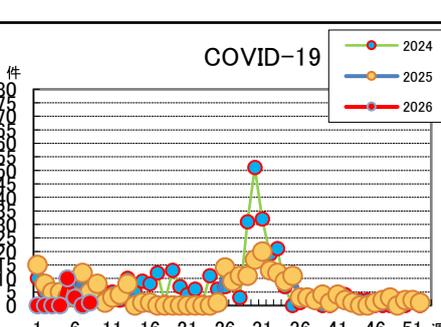
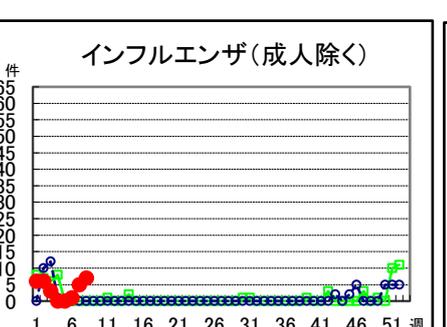
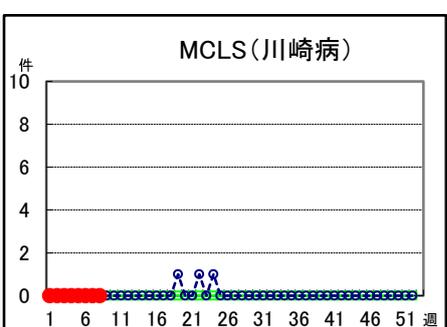
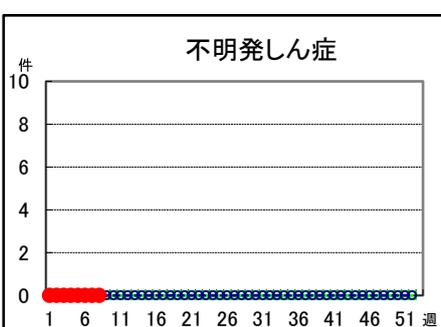
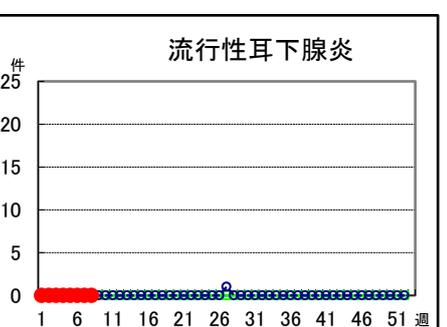
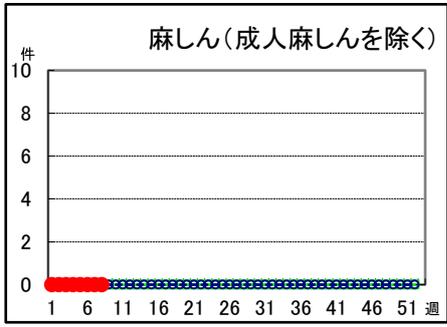
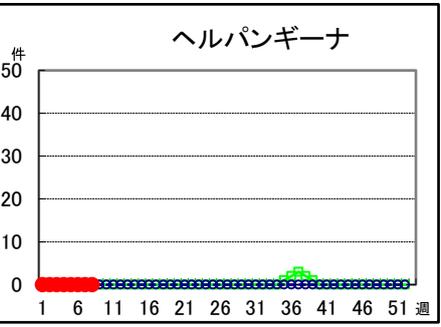
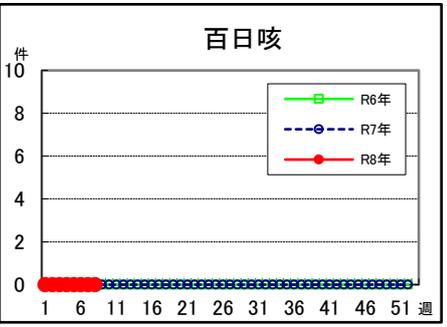
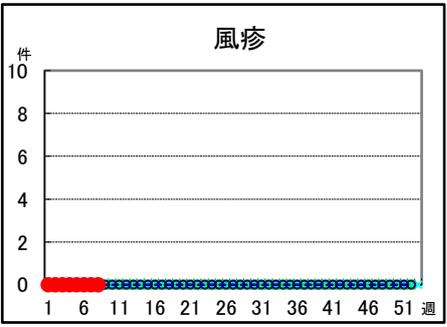
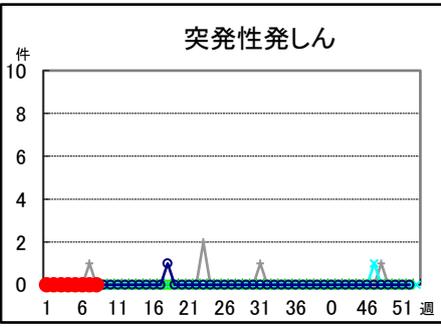
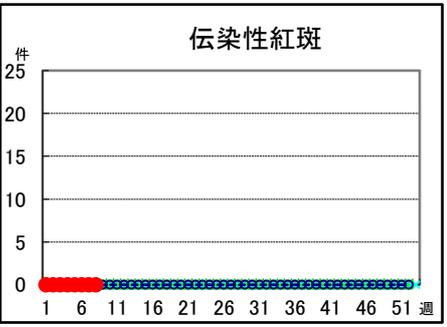
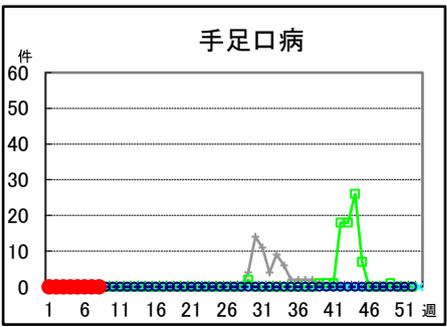
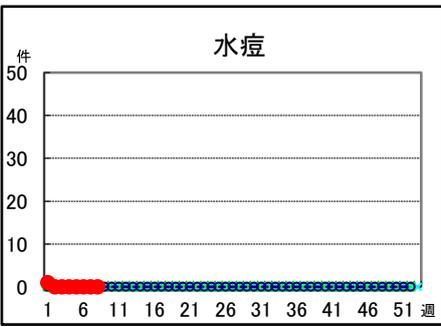
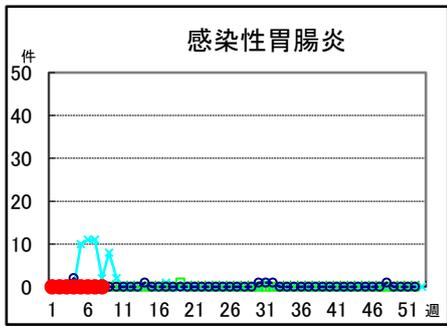
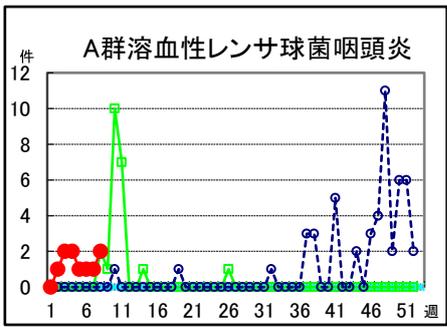
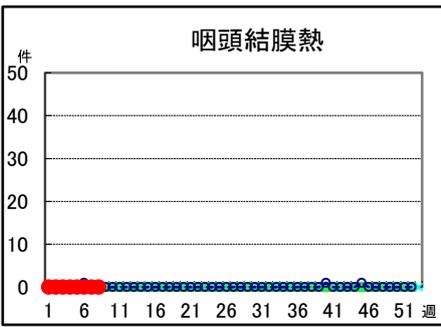
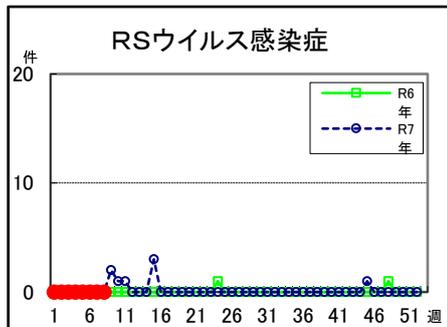


引用:厚生労働省、政府広報オンライン

島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

※八丈出張所管内、東京都(全域)、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

- 島しょ保健所八丈出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/hokenjyo/tousyo/hachijou>
- 東京都(全域) ⇒Web版感染症発生動向(東京都感染症情報センター) <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- 全国⇒国立健康危機管理研究機構(感染症情報提供サイト) <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>
- 厚生労働省感染対策 [https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2\\_1](https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1)



※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握、分析し情報提供することにより、感染症発生および、まん延を防止することにあります。八丈出張所管内では、町立八丈病院、青ヶ島診療所の2施設の医師の診断に基づき集計しています。

【編集・発行】  
 島しょ保健所 八丈出張所  
 電話:04996-2-1291  
 FAX:04996-2-0632